



Voice

ヴォイス
第3号

大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞
第3号 / 発行2010年7月20日

地球を感じよう！ 学生ECOフェスタを初開催！

Photo/キャンドルナイト

学生発の地域イベント 大分市、商店街とタイアップ

本学の学生らが運営の中心になった「2010/府内☆学生ECOフェスタ」が6月19日、大分市の府内五番街商店街で行われた。国連環境デー(5日)や夏至(21日)がある環境月間に開催される「学生発の地域イベント」だ。「地球を感じよう！」を基本コンセプトに、大分市環境対策課や府内五番街商店街とタイアップして、地球環境の保護を訴えるとともに、新しい形の地域おこしを目指した。

【主催】「府内☆学生ECOフェスタ」実行委(実行委員長・赤池すずか、情報コミュニケーション学科2年)
【共催】大分県立芸術文化短期大学、キャンパスカフェ編集部、大分市、府内五番街商店街街振興組合、大分合同新聞社 / 【後援】大分市教育委員会。

大分合同新聞は、フェスタの様態を次のように伝えた。

県内の学生が企画・運営を手掛けた、初の地域イベント「2010府内☆学生ECO(エコ)フェスタ」が19日、大分市中心部の府内五番街商店街であった。

県立芸術文化短期大、大分大の学生を中心とする同フェスタ実行委員会(赤池すずか委員長)の主催で、6月の環境月間にちなみ「エコ」を柱としたイベント。県内の学生約200人がスタッフとして参加した。

情報発信、環境、音楽・映像、LOHAS(ロハス=生活と環境をともに大事にする生活)といったテーマごとに「ゾーン」が設けられ、地球環境の保護、地域活性化を考える行事が行われた。

省エネ運動「キャンドルナイトチャレンジ」として、商店街約400メートルにわたって廃油で作った約3千個のろうそくを設置。午後7時半すぎ、一斉に火がともされると、キャンドルは小さな光の列となり、商店街は優しい雰囲気包まれた。(6月20日朝刊)

大分市環境対策課より、 感謝メッセージ。

「府内☆学生エコフェスタ」は、大分市内の大学生や商店街の皆さんと市役所がアイデアを出し合い、企画・実現されました。初めての試みにもかかわらず、学生の皆さんの柔軟な発想や高い機動力、商店街の皆さんの温かいご支援により、大成功を取ることができました。学生の皆さんは、今回の経験をぜひ今後の糧にしてください。私もお互いが学びあえるような新しい発想の事業を展開して行きたいと考えています。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(環境保全係主事・三ノ宮耕介)

